

太宰府市副市長

しみず けいすけ
清水 圭輔



「人の命は我にあり、天にあらざ」と古代中国の思想家老子は言っています。人の命はもともと天から授かった生まれつきのものであり、養生すれば長く、養生しなければ短い。すなわち長命か短命かは、自分の心がけ次第であると言っています。

時あたかも日本列島、いや世界中でまん延している新型コロナウイルス感染症の感染が止まりません。新薬ワクチン接種対応で、太宰府市でも連日協議、準備中ではありますが、皆さんの日常生活においても三密（密集、密接、密室）や不要不急の外出などを避け、手指の消毒や咳エチケット（マスク着用）を心がけ、これ以上の新型コロナウイルス感染症の感染者が出ませぬよう基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。

世界中にも定着したマスク着用現象が一刻も早く解消され“普通の生活”に戻れますことを念じています。

「冬来りなば春遠からじ」新型コロナウイルス感染症も必ずや沈静すると確信します。

特集

私のだざいふ、トピックス ……2～4

福岡県知事選挙のお知らせ ……5

令和3年度 令和発祥の都太宰府
施政方針 ……6～13

新型コロナウイルスワクチンの接種
について ……14～15

令和3年度 風しん抗体検査および
予防接種について ……16

令和3年度 元気づくりポイント事業
のお知らせ ……17

令和3年度 保健センター事業
のお知らせ ……18～19

太宰府市部落差別の解消の推進に
関する条例を制定しました ……20

令和3年度 まほろば市民大学
受講生募集 ……21

市からのお知らせ ……22～27

連載 ……28～35

なんでも情報コーナー ……36～43

太宰府の文化財 ……44

トピックス

令和発祥の都太宰府

大宰府史跡100年記念フォーラム

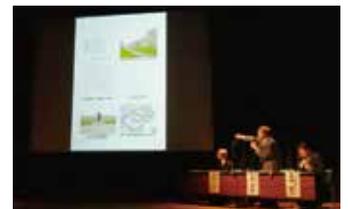
大宰府跡・水城跡が国指定の史跡となって100年を迎えたことを記念し、市主催のフォーラムを3月7日、プラム・カルコア太宰府で開催しました。

午前には、日本文学に造詣が深く太宰府ともゆかりのあるロバート キャンベル先生をお迎えし、「日本近代の黎明と太宰府」と題してご講演をいただきました。博覧会は文化や近代化の取り組みを紹介する場となっていますが、九州初の博覧会が明治6年に太宰府で開かれたこと、江戸時代には太宰府で展覧会が催されていること、こうした文化的なエネルギーが史跡指定前の太宰府にあったことなどを紹介されました。

午後のシンポジウムでは、前半は「古代大宰府の客館と国際交流」と題し、太宰府の源流である古代の大宰府や客館について専門家の先生方にご紹介いただきました。後半は「これから100年ー太宰府の未来を語る」と題し、キャンベル先生、楠田市長らと交え、魅力を伝える仕組みづくり、拠点の創出、広域連携、子どもたちにどう伝えるかなどの意見が交わされました。



フォーラム前日に客館跡を視察する
キャンベル先生



キャンベル先生の講演会や
楠田市長らと交えたシンポジウム